

福岡教育大学紀要投稿の手引



最終決裁者名：学術情報センター長

(担当部署)

学術情報課 学術情報グループ

電話 0940-35-1258 (内線 2163)

E-mail tossocho@fukuoka-edu.ac.jp

1 趣旨

この手引は、福岡教育大学紀要規程に基づいた福岡教育大学紀要（以下「紀要」という。）の投稿に関して、その書式や体裁などについて、必要な事項を定めています。

投稿できる原稿の種類は、第1から第5分冊は、各分野に関する研究論文、第6分冊は、教育実践に関する研究論文、研究ノート及び資料とし、いずれも未公刊のものとしします。

2 投稿申込

投稿申込者は本学専任教員（本学を退職後1年以内の者を含む）、本学附属学校園教員、外国人教師及び名誉教授に限ります。

投稿申込手続きについては、4月1日から8月10日までの間に、この手引記載の「別紙1」及び「別紙2」を紀要委員会委員長（以下「委員長」という。）に提出してください。なお、各号における第1執筆者としての投稿は第1から5分冊までは制限なし、第6分冊については2編までとしします。ただし、共同執筆者については制限しないものとしします。

3 原稿の提出

執筆者は、Wordファイル等を利用して作成した論文原稿及び電子記録媒体と併せて、原稿送付票と図表等明細票の2葉の投稿票及び「別紙3」を、原稿提出締切日までに委員長に提出してください。

（1）原稿送付票には、次の事項を記入します。

- i) 執筆者所属、氏名及びローマ字氏名
- ii) 論文への執筆者氏名の掲載順位
- iii) 論文題目及びその略題目
- iv) 和文・欧文の別
- v) 原稿枚数及び刷り上り頁数
- vi) 収載分冊
- vii) 抜刷希望部数

（2）図表等明細票には、次の事項を記入します。

- i) 図、表及び写真の各枚数
- ii) 図、表及び写真の各大きさ

4 原稿の形式

原稿は、和文、欧文ともにWordファイル等で印書してください。原稿提出後にページ数が変更されると発行に遅れが生じることがありますので、以下の書式を厳守の上、提出願います。

（1）和文の原稿

- i) 縦書上下2段組（第1・2・5分冊）

- A 4 版 3 2 字×2 5 行×2 段で刷り上り 1 ページ
- ii) 横書 1 列組 (第 1・3・4・5 分冊)
A 4 版 4 8 字×4 8 行×1 列で刷り上り 1 ページ
- iii) 横書左右 2 列組 (第 2・4・5・6 分冊)
A 4 版 2 2 字×4 8 行×2 列で刷り上り 1 ページ
- (2) 欧文の原稿
 - i) 原則として 8 0 ストローク×2 0 行, 2 枚で刷り上り 1 ページ
 - ii) やむを得ない場合は, 7 0 ストローク×3 0 行, 3 枚で刷り上り 2 ページ
- (3) 図, 表及び写真 (刷り上り) の原稿への換算は, 別表のとおりです。
- (4) 第 1 から第 5 分冊については, 1 編 1 4 ページ以内とし, ページ超過分の経費は執筆者から徴収します。第 6 分冊については, 1 編 8 ページ以内とし, ページ超過は認めません。

5 原稿の書き方

原稿の書き方は, 次の通りとし, この手引に規定していない細目事項については, 所属する学会等の慣例に従うこととします。

- (1) 原稿第 1 枚目には, 次の順序に従って, それぞれ行を改めて記載します。
 - i) 論文題目
 - ii) 第 1 執筆者名, 共同執筆者名
 - iii) 所属名
 - iv) 抄録 (分野によっては省略可)
※ 和文の場合は, 原則として上記の順序に従って英文を併記します。
 - v) 受付日, 受理日
- (2) 用語は, 常用漢字及び現代仮名遣いを用いることを原則とします。又, 使用する学術用語, 略語及び単位は, 所属する学会等で統一されたものを用います。
- (3) 図, 表及び写真は本文の適切な箇所に挿入し, それぞれ通し番号で示してください。図, 表及び写真中の文字及びこれらの説明文は英文で行うことを原則とします。
- (4) 見出しは, ゴシック体で, 次のポイント・システムを原則とします。

節 1.	2.	3.
項 1. 1	2. 1	3. 1
目 1. 1. 1	2. 1. 1	3. 1. 1
- (5) 引用文献は, 本文中に肩付き数字 1) 2) 3) 又は丸括弧 (1) (2) (3) で示し, 執筆者名, 論文題目, 論文誌名等は, 本文末尾の文献欄に出典通し番号順又は第 1 執筆者名のアルファベット順にまとめて示します。
※ (4), (5) は, 所属する学会等の慣例に従うこともできます。ただし, 同一論文内では, 書式を統一してください。

6 校正

校正は、次のとおりとします。

- (1) 執筆者校正は、2校までを原則とします。2校の校正は、「初校校正箇所の確認の上責了」を原則とします。
- (2) 校正は、校正版（ゲラ刷り）がされた後、初校校正は5日間で、2校(再校)校正は2日間で完了しなければなりません。
- (3) 校正は、単に活字の誤植、誤字及び欠字の修正のみとし、内容の変更はできません。
- (4) 校正は、赤字でその誤りを明示してください。

※ 校正の回数等、上記ルールについては紀要発行のスケジュール管理上厳守願います。

7 刷り上り体裁

論文原稿の刷り上り体裁は、次のとおりです。

- (1) 各ページには、次のものが印刷されます。
 - i) 第1ページ
 - 欧文の場合は, Bulletin of University of Teacher Education Fukuoka, 巻, 号, 分冊, ページ, 発行年度が最上欄中央に英文で印刷されます。
 - 和文の場合は, 福岡教育大学紀要, 巻, 号, 分冊, ページ, 発行年度が横組には最上欄中央に, 縦組には最右端上部にそれぞれ和文で印刷されます。
 - ii) 第2ページ以降
 - 偶数ページに執筆者名, 奇数ページに論文題目が和文論文には和文で, 欧文論文には欧文でそれぞれ最上欄中央に印刷されます。ただし, 論文題目が長い場合には略題目が印刷されます。
- (2) 論文題目は, 和文, 欧文ともゴシック体とします。
- (3) 執筆者のローマ字氏名は, 姓, 名とも頭文字は大文字とし, 第2字以降の名は小文字, 姓はスモールキャピタルとし, 名, 姓の順に並べます。
- (4) 執筆者の所属名, 所属機関名は, それぞれ本学で統一されたもの及び公称名とし, 欧文の場合は論文題目と同じ言語でイタリック体とします。

8 プライバシー権

投稿論文中に, 挿絵・写真・人名等が挿入されている場合, 事前に当該関係者にその許諾を得てください。掲載したことにより発生した事故, 損益等については, 投稿者の責任において対応していただきます。

9 論文原稿のピア・レビュー

論文原稿については, 紀要委員会が委嘱したレビュアーの意見及び当該意見を受けての執筆者の対応に基づき, 紀要委員会が論文の掲載の可否を決定します。

なお、レビューアの選定および委嘱は、「別紙2」に記載の「推薦するレビューア」を参考に委員会が行います。また、レビューアの意見を受けての執筆者の対応については、「別紙4」に必要事項を記載いただき、修正原稿と共にご提出ください。

10 経費負担について

(1) ページ超過及びカラーページ指定の経費負担について

- i) 第1から第5分冊のページ数が超過する場合は、刷り上り1ページにつき1,000円の負担とします。
- ii) カラーページを指定する場合は、刷り上り1ページにつき1,500円の負担とします。

(2) 抜刷作成経費の負担について

抜刷は、希望部数のみ作成します。

経費は、1編につき30部までを紀要発行費での負担とし、希望部数が30部を超える場合は、1部につき150円の負担とします。

(3) 分冊作成経費の負担について

第1から第5分冊の冊子体は、希望部数のみ作成します。

経費は、1冊につき400円の負担とします。

(4) (1) - (3) に定める経費負担額の徴収について

- i) 負担額は当該論文の執筆者のうち紀要規程第8条1号から4号までに掲げる者（以下「本学専任教員等」という。）より徴収することとします。本学専任教員等複数人による執筆の場合、特に指定がない限り負担額を該当する本学専任教員等の数により除した金額をそれぞれから徴収することとします。
- ii) 負担金の徴収方法については、本学専任教員が負担する場合は、事前に指定された予算より学術情報課が直接予算を執行し、名誉教授、退職教員による負担となる場合は紀要経費より一時的に支出を行い、その後現金による負担金の徴収を行うこととします。
- iii) 当該年度の発行経費に、上記において徴収する金額を加えてもなお不足額が生じる場合は、投稿申込者の負担とならないように諸種の措置を講じますが、いかなる方法によってもそれが不可能な場合には、不足額を投稿編数で除した金額を各投稿申込者から徴収することとします。なお、本学専任教員等による共同執筆の場合は、当該投稿申込者から徴収する金額を、本学専任教員等で案分することとします。

11 その他

- (1) 第6分冊「教育実践研究編」については、電子版のみの発行とします。
- (2) 執筆者は、論文原稿の控を手元に保存してください。

(履歴)

平成23年 4月 1日 作成
 平成24年 7月 1日 改正
 平成24年12月12日 改正
 平成25年 7月 9日 改正
 平成26年 7月24日 改正
 平成27年 7月15日 改正
 平成28年 7月19日 改正
 平成29年 3月31日 改正
 平成30年 3月23日 改正
 平成30年 6月 8日 改正
 令和 元年 5月23日 改正
 令和 5年 9月15日 改正

別表

(刷り上り1ページの大きさ 24cm × 17cm = 408cm²)

原稿 の 種別	版組	大きさ	102 cm ²	204 cm ²	306 cm ²	408 cm ²	510 cm ²	612 cm ²	714 cm ²	816 cm ²
		原稿	以内	以内	以内	以内	以内	以内	以内	以内
和 文	縦書 上下 2段	32字× 25行 ×2段	0.25	0.5	0.75	1	1.25	1.5	1.75	2
	横書 1列	48字× 48行 ×1列	0.25	0.5	0.75	1	1.25	1.5	1.75	2
	横書 左右 2列	22字× 48行 ×2列	0.25	0.5	0.75	1	1.25	1.5	1.75	2
欧 文	横書 1列	80ストローク ×20行 ×2枚	0.25	0.5	0.75	1	1.25	1.5	1.75	2

(別紙 1)

福岡教育大学紀要論文投稿申込書及び著作権等許諾書

年 月 日

福岡教育大学紀要委員会委員長 殿

私は、福岡教育大学紀要委員会（以下「委員会」という。）が発行する「福岡教育大学紀要」(以下「本学紀要」という。)に論文を掲載するにあたり、以下の事項について許諾します。

【著作権及び著作物内容】

投稿申込者	所 属		共同執筆の場合 論文への 氏名掲載順位
	氏 名		
執 筆 者 所 属		氏 名	
			第 1
			第 2
			第 3
			第 4
			第 5
投稿申込者 連絡先	Tel : (内線) E-mail :		
論文題目			
論文の概要(日本語 200 字程度)			
掲載希望分冊	第 分冊		

※ 注意事項

1. 投稿申込者は、本学専任教員（本学を退職後 1 年以内の者を含む）、附属学校園教員、外国人教師及び名誉教授に限ります。
2. 論文提出時に第 1 執筆者（First Author）が本学所属の者（大学院生を含む。）でない場合には、第 1 執筆者の主たる研究場所が福岡教育大学にあることの説明書を添付してください。

【許諾内容】

1. 出版及び頒布

全ての執筆者は、当該論文を本学紀要に掲載して出版すること、及び出版された本学紀要の頒布を紀要委員会に対して許諾する。

2. 複製権及び公衆送信権

全ての執筆者は、当該論文に関する複製及び公衆送信を紀要委員会に対して許諾する。紀要委員会が複製及び公衆送信を第三者に委託した場合も同様とする。

3. 電子化公開の条件等について

電子化公開にあたっての条件等については、「福岡教育大学紀要規定」による。

※ 投稿申込締切日 8 月 1 0 日

福岡教育大学紀要投稿論文のレビュアーの推薦について

年 月 日

福岡教育大学紀要委員会委員長 殿

私は、福岡教育大学紀要委員会（以下「委員会」という。）が発行する「福岡教育大学紀要」（以下「本学紀要」という。）に投稿する論文のレビュアーについて、下記の者を推薦します。

記

推薦するレビュアー (推薦順位 1 位)	所 属	(学内の場合は所属名等を, 学外の場合は機関名・部局等を記載ください。)
	氏 名	
	連 絡 先	(学外者の場合のみ記載ください。) Tel : E-mail :
	推薦理由 (略歴・業績等)	(学外者の場合のみ記載ください。)

推薦するレビュアー (推薦順位 2 位)	所 属	(学内の場合は所属名等を, 学外の場合は機関名・部局等を記載ください。)
	氏 名	
	連 絡 先	(学外者の場合のみ記載ください。) Tel : E-mail :
	推薦理由 (略歴・業績等)	(学外者の場合のみ記載ください。)

※必ず2位まで記載いただく必要はありません。

投稿申込者	所 属	
	氏 名	
論文題目		
掲載誌名・巻号	本学紀要	年 第 号 第 分冊

大学紀要掲載予定論文についての自己点検

年 月 日

投稿申込者	所 属	
	氏 名	
論文題目		
掲載誌名・巻号	本学紀要	年 第 号 第 分冊

- ☐ 「紀要投稿の手引き」に規定された様式（文字数・行数）を守っている。
- ☐ 人権上問題となる不適切な表現がない。
- ☐ 論理・実験等に誤りがなく、考察や結果の論理性が明確である。
- ☐ データ提供者がいる場合のデータ提供者への説明や、研究対象者からの同意を得るなど、適切な措置を講じている。
- ☐ 個人情報の保護に関して適切な処置をとっている。
- ☐ 守秘義務に反していない。
- ☐ データのねつ造、改ざん、盗用がなく、引用については出典を示す等適切な表現がとられており、かつ、引用部分が明確にされている。
- ☐ 執筆者に関して、資格を有しない者を含めたり、資格を有する者を除外したりするなど、不適切なオーサiershipがとられていない。
- ☐ 本論文の投稿について、二重投稿にはあたらない。
- ☐ 他の出版物の著作権と抵触しないことを確認するとともに、直接引用した図・表等については転載の許可を得ている。

以上の事項について自己点検を行い、誤りがないことを報告します。
 なお、共著の場合は、全ての執筆者について自署をお願いします。

(氏名) _____ (自署)

(氏名) _____ (自署)

(氏名) _____ (自署)

(氏名) _____ (自署)

(氏名) _____ (自署)

(別紙4)

福岡教育大学紀要ピア・レビュー修正対応表

年 月 日

論文題目：_____

執筆者名：_____

個別指摘についての対応（例等は削除して、ご記入ください。）

	レビュアーの意見・指摘箇所	執筆者の対応方針 (修正の場合は、修正内容を右欄に記入)	修正内容
1	(修正意見及び指摘箇所(●ページ中段など)を転記ください。)	(対応内容について説明ください。)	(修正内容を転記又は説明ください。) (例) p. ● 左段から●行目を、レビュアーの指摘に沿って以下のように修正した。「(修正文章を記述)」
2			
3			
4			
5			
6			

※各行については適宜追加／削除してください。

※ピア・レビュー及び人権上の点検における指摘事項，単純な誤字脱字の範囲を超える修正を行った場合，掲載不可と判断されることがあります，ご注意ください。